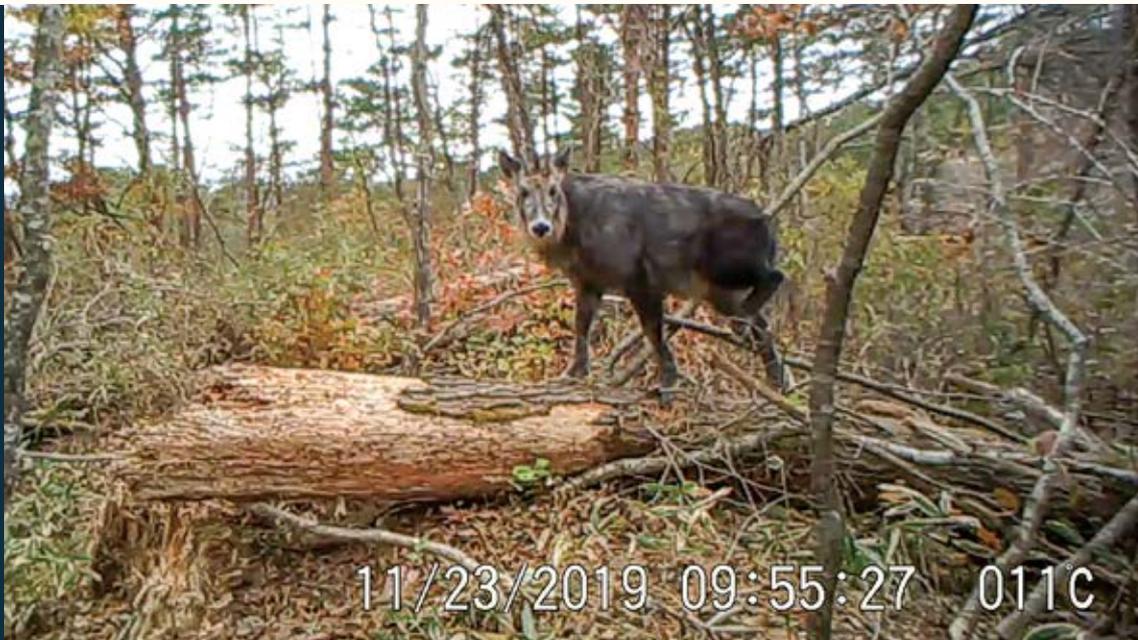


南三陸に棲む隣人たち

—センサーカメラの映像より—

野生動物の生活に迫る。



センサーカメラ映像公開

2020 **3.19** (木) 19:00 - 20:30 [18:30 開場]

会場

南三陸町生涯学習センター
第一研修室にて [南三陸町志津川字新井田 165 番地 1]

参加費

入場無料 主催：南三陸ネイチャーセンター友の会
令和元年 南三陸町おらほのまちづくり支援事業補助金 採択事業

講師

グローバル・サポート・センター (インタープリター)
ネイチャーセンター友の会 (会員)
東京農業大学 森林総合科学科 森林生態学研究室 (研究生)

北林 牧 (きたばやし まき)

東京都出身。環境アセス・コンサルの会社で、野生生物調査に7年間従事。渡米し、環境学の修士号取得後、ニューヨークの動物園でインターン後帰国。次はアフリカの国立公園などで環境教育隊員として活動。東日本大震災後は気仙沼市へ一時移住。その頃から身近に出てくるカモシカに興味を持ち、昨秋からは南三陸町内にセンサーカメラを仕掛けて、野生動物の生活を覗き見中。

南三陸で、出会うことがあるカモシカ、ニホンジカ・・・彼らが、私の知らないところでどのように生活しているのか知りたくなりました。

町内の方へお願いして、**2019年9月末から数カ所にセンサーカメラを仕掛け**させていただき、映った動物を確認しています。

これまでに、映った哺乳類は、カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、タヌキ、ノウサギ、キツネ、アナグマ (多分)。

場所によっても、季節によっても (そしてカメラの仕掛け方によっても) 映る種類も頻度も異なりますが、これまで自分の目で見たことがなかった彼らの行動を少しだけ知ることができています。

これらの映像を皆さんにも見ていただければと思います。

気仙沼に住み始めたころ、奥山にひっそりと暮らしていると思っていたカモシカが、私の家の庭先に頻りに現れることに驚きました。

少し調べてみると、どうやらカモシカもニホンジカも**1990年ごろまで、南三陸では、あまり見かけることがなかったようです。**

なぜだろう?人間の生活の変化もそれに影響しているのではないかと。そして、今後も人間の生活の変化によって変化するのではないかと。

そんなことも考えたり、調べたりしながら、**彼らの生活を長期的に知っていただければと思っています。**

